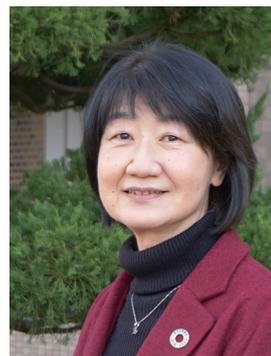


よりよい未来のために、大学も歩みをすすめています

地球の温暖化は、絶妙なバランスで成り立っている生態系に影響を与え、飢餓、社会不安へと連鎖しています。人間の社会・経済活動も同様で、新型コロナ・ウイルス感染症（COVID-19）パンデミック、続くロシアのウクライナ侵攻は、地域の問題が易々と国境を越え、複雑に絡みあっていることを浮き彫りにしました。

絡まって玉のようになった糸を、ひとつひとつ丁寧にほぐしていくように、山口大学は様々な分野で課題解決に向けて取り組んでいます。この報告書をおしてその一部をお伝えすることが出来ました。

私達は、命あるものすべてが、よりよい環境の中で共存できる平和で安定した社会をつくり、次の世代へ引き継いでいかなければなりません。その指標である持続可能な開発目標（SDGs）の実現のため、国や多くの機関が連携し、総力をあげて努力を続けていく必要があります。山口大学も、その一翼を担う機関として、よりよい未来に向けて、取り組んでいきます。



副学長（国際連携担当） 石井 由理



THE大学インパクトランキング 2022

イギリスの高等教育専門誌（THE：Times Higher Education）による「THE（テイ・エイチ・イー）大学インパクトランキング2022」において、山口大学は世界総合ランキングで301－400位（国内15位タイ）にランクインしました。

「THE大学インパクトランキング」は、国連が掲げる「持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）」の枠組みを通して大学の社会貢献度をランキングするものです。4回目となった2022年は、世界1,406大学がランクインしました。

山口大学は、項目別ランキングでは、「SDG2：飢餓をゼロに」で世界68位タイ（国内5位）、「SDG14：海の豊かさを守ろう」で世界92位（国内9位）、「SDG15：陸の豊かさを守ろう」で世界89位（国内4位）と3項目で世界トップ100位以内にランクインしました。

加えて、「SDG13：気候変動に具体的な対策を」では世界101－200位（国内2位）となるなど、4項目で101－200位にランクインし、多くの項目で高い評価を受けました。また、「SDG4：質の高い教育をみんなに」では、国内の大学では唯一世界301－400位にランクインしました。

山口大学では、毎年17項目すべてにエントリーすることで、大学のSDGs貢献度を可視化し、今後の推進活動へと繋げています。